

	愛知 岐阜・石川 三重・福井 静岡・富山	平成 24 年 6 月 1 日 No.2012-1 公益社団法人 日本放射線技術学会 中部部会
		事務局: 〒920-8641 金沢市宝町 13-1 金沢大学附属病院放射線部内 TEL:076-265-2010 FAX:076-234-4311

## 巻頭言

### “医療被ばく管理”

中部部会副部会長 安達 登志樹

福島原発事故以来、多くの国民は“放射線”という見えざる物に恐怖心を抱き、医療における“放射線被ばく”という問題にも、これまで以上に不安を抱きながら検診機関や医療機関でのX線検査を受けていると想像できます。今年の日本放射線技術学会総会でのシンポジウムとして企画されていた「デジタル画像における画質と線量の最適化」では、デジタル化への移行が進んでいるここ10年の各部位の線量変化はむしろ増加傾向にあり、胸部撮影にいたっては1973年の調査開始から順調に減り続けた線量が、1993年ごろから増加傾向になり1997年のS/F系での撮影条件より多いという結果でした。特に小児におけるデジタルでの撮影条件がS/F系の2倍程度になっている点が注目されました。また、撮影部位によっては最少と最大撮影条件に10倍から数10倍の差があり、施設間格差が増大しているようです。

これらの線量傾向の原因として、①撮影条件の検討が十分にされていない。②CR装置の品質管理が十分に行われていない可能性がある。③必要以上の線量をあたえる傾向にある。などが挙げられ、残念ながら本来われわれ放射線技師が管理しなければならない業務をきちんと行っておらず患者が受ける線量への意識が低下していると考えられます。2004 にランセットに掲載された「Risk of cancer from diagnostic X-rays: estimates for the UK and 14 other countries」では、医療機関での X 線診断による被ばくが原因で発症するがんは日本が最高で、全がん発症者の 3.2%を占める という内容のもので、われわれ医療界の中では様々な論議が行われ、特に“X 線 CT による被ばく”に警鐘を鳴らし、その後



の「CT 検査における被ばく低減」に繋がりました。この福島原発事故を教訓に国民が心配している“医療被ばく”を説明できるように一般撮影においても各施設での撮影条件の検証と線量と画質の関係を把握し、放射線の専門家の一人として“医療被ばく管理”を行い、無用な被ばくをさせないという高い意識を常に心がけ検査を行うようお願いいたします。

さて、今年度の行事予定を以下のように計画しています。会員の皆さまのご協力と参加をお願いいたします。

1. 第 5 回中部放射線技術学術大会(第 47 回中部部会学術大会:竹田浩康 大会長)が 11 月 3 日(土)、4 日(日)にアクトシティ浜松 コンgressセンターで「未来のベクトルを考える放射線技術」をテーマに開催されます。
2. 今年度の部会セミナー予定  
第 1 回が 6 月 2 日(土)に金沢大学病院で心臓をテーマとした「未来の治療法の開発と画像診断最前線」として開催されます。  
第 2 回は来年 1 月に名古屋での開催を予定しています。  
第 13 回 CT 立山セミナーは 7 月 7 日(土)、8 日(日)に「被ばく低減の現状と課題」をテーマに開催します。
3. 本部学術委員会、各分科会との共催  
「救急撮影セミナー」6 月 10 日(日)名古屋市立大学病院 第一会議室  
「第 3 回防護セミナー」7 月 14 日(土)名古屋市立大学病院 医学部研究棟 11 階  
「第 1 回 ROC セミナー」7 月 21 日(土)、22 日(日)名古屋市立大学病院 第 1 会議室  
「第 8 回 PACS Specialist セミナー」8 月 25 日(土)エーザイ名古屋オフィス 6 階
4. 各研究会技術セミナー  
ホームページをご確認ください。  
中部部会では、部会セミナー、各研究会の技術セミナーなど中部部会ならではの地域の放射線技術活動を通して、医療技術の質の向上と安全、安心な医療を目指し、本学への社会的な期待に応えるべく努力したいと考えています。会員の皆さまには、今後とも中部部会活動にご支援とご協力をお願いいたします。

## 会告

### 間もなく演題募集が始まります！

#### 第5回中部放射線医療技術学術大会開催に向けて

第47回日本放射線技術学会中部部会学術大会

大会長 竹田浩康

平成24年11月3日(土)・4日(日)の両日、第5回中部放射線医療技術学術大会をアクトシティ浜松コンgresセンターにて開催いたします。本学術大会も5回目となり、回を重ねるごとにその開催規模も拡大し、日本放射線技術学会中部部会、担当各県放射線技師会、そして日本放射線技師会の共催と言う開催形式もすっかり定着した感があります。

さて、『技術とは何か?』を考えたとき、それは物であれ手技・手法であれ、「こうなったらいい、あんなったら便利」と言った要求に応えるための道具、あるいは手段であると言えると思います。更に、それは要求に対して相応以上の効果、あるいは利便性をもたらし、そして社会に貢献できるものでなくては認知されることはありません。これまで私たちは医療現場から研究分野までの幅広い分野で技術の向上を実践し、技術を技術学という学問としての地位にまで高めてきました。しかし、技術の進歩はそれに対する要求がなくなった時、あるいは取り巻く環境からの要求を感じ取れなくなった時に急速に衰退します。更に、このような要求は不変的なものではなく、環境、時代とともに変化するものです。従って、私たちはモチベーションを維持し、要求にいち早く反応する姿勢を常に保つ必要があります。冒頭で『技術』を『道具』に例えました。古くから『道具を生かすも殺すも人しだい』と言います。つまり、技術を発展させるためには、それを使う人の意識が最も重要であると考えます。このような観点から、第5回中部放射線医療技術学術大会では、大会テーマを『未来のベクトルを考える放射線技術』とし、技術を扱う『人』にスポットを当てた大会といたしました。大会企画もそれに沿って、シンポジウムのテーマは『診療放射線技師の更なる質的向上をめざして』とし、大学教育、卒後臨床現場での教育、人材育成の現状と問題点、そして診療放射線技師の今後の方向性をグローバルに考え、討論できるような場を提供でき

ばと企画しました。また、特別企画としては、テーマを『私たちの未来を考えるー今、診療放射線技師に求められることー』とし、技術学会および技師会が時代の要求をどのように捉え、将来的にどのような事業展開をしていくのか、また今後の方向性を考える上で、今私たちに何が必要かを提起する講演会を企画しました。その他、特別講演、市民公開講座、機器展示、各種セミナー等を企画し、本大会に参加する会員の皆様が、自身の将来を考える上でのヒントとなることを一つでも多く持ち帰り、それぞれのフィールドで役立てていただけることを期待しています。

今大会に関する詳細は HP 上に掲載しております。また、間もなく演題募集も開始いたしますので、奮ってご応募下さい。出来るだけ多くの方が気軽に参加出来るよう、会場は交通の便が良い浜松駅前としております。多数の会員の皆様方の参加を心よりお待ちしております。

## 演題募集のお知らせ

第5回中部放射線医療技術学術大会を下記日程にて開催いたします。  
つきましては、一般発表演題を募集いたしますので、応募要項に従ってご応募いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 記

会期：平成24年11月3日(土)～4日(日)

会場：アクトシティ浜松コンgressセンター

### 第5回中部放射線医療技術学術大会演題応募要項

#### ・演題申込資格

発表者は、日本放射線技術学会正会員および学生会員、日本診療放射線技師会員、中日本地域の技師会員に限ります。

非会員の方が発表される場合には、あらかじめいずれかの団体への会員登録が必要です。

#### ・演題申込方法

演題登録は、UMIN オンライン演題登録システムを使用して行います。

第5回中部放射線医療技術学術大会 HP (<http://ccrt2012.umin.jp/>) の『演題申込』からオンライン登録ページへお進み下さい。

登録時の注意事項等、HP上の応募要項に記載してありますので、ご参照下さい。

#### ・募集期間

平成24年7月3日(火)～平成24年8月21日(火)

#### ・発表抄録

発表抄録は、400字以内です。図表は使用せず、目的・方法・結果・考察の各項目ごと、わかりやすく記述して下さい。

#### ・演題の採否、発表日時

応募演題の採否、発表日時の決定は、プログラム委員会を経て大会長に一任させていただきます。演題採用通知は、10月初旬ごろまでにメールにて通知いたします。

#### ・演題登録に関する問い合わせ

第5回中部放射線医療技術学術大会事務局プログラム委員

連絡先メールアドレス：ccrt-office@umin.ac.jp

# 技術セミナーのお知らせ

## CT研究会

### 第13回CT立山セミナーのご案内

福島第一原子力発電所の事故に端を発し、多くの国民が放射能・放射線に関心を寄せるようになり、一部報道では医療被ばく、特にCT検査による被ばくがクローズアップされました。そこで今回は国民のCT検査による被ばくの不安に対して説明責任を果たせるよう、現状の被ばく低減策について議論を深め、より安心して検査を受けていただけるようにしたいと思います。また、特別講演として放射線医学総合研究所の島田義也先生をお招きして「低線量放射線の人体への影響」と題して講演していただきます。初夏の立山山麓の深緑と温泉で、心も体もリフレッシュしましょう。どうぞ普段着でお越しください。

テーマ:「被ばく低減の現状と課題 ―どこまで線量を下げられますか?―」

日時:平成24年 7 月 7 日(土), 8 日(日)

会場:立山国際ホテル TEL 076-481-1111 <http://www.tatekoku.com/>

(例年と会場が変更になりました。ご注意ください。)

参加費:16,000円(1泊2食,会場費,入湯税,資料代等)

募集人数:50名程度(人数多数の場合は先着順とさせていただきます。)

集合場所:JR富山駅北口12:00(送迎バスあります。事前にご連絡願います。)

自家用車の場合は現地に13:00までをお願いします。

応募方法:所属,氏名,連絡先電話番号,本人メールアドレス,集合場所を明記のうえ,全て電子メールでお申し込みください。

申込先:E-mail [chubu\\_ct@hotmail.com](mailto:chubu_ct@hotmail.com)

(確認メールを送りますので 1 週間経っても返事がない場合は下記の間合先にご連絡ください。)

申込締切:平成24年 6 月15日(金)16:00まで

その他:肺がんCT検診認定技師の参加者にはポイントが付きます。

プログラム:1 日目

《シンポジウム》 13:30 ～ 15:30

「被ばく低減の現状と課題」

- ・CTDIと実効線量をきちんと理解しよう！ 金沢大学 松原 孝祐
- ・被ばく低減のためのAEC活用法(仮題) 名古屋市立大学病院 山田 雅人
- ・逐次近似法による画質と被ばく低減技術 福井大学病院 林 亮子
- ・低線量CTの画質(仮題) 中津川市民病院 原 孝則

《特別講演》 15:40 ～ 16:40

「低線量放射線の人体への影響」放射線医学総合研究所 島田 義也

《イブニングセミナー》 20:00 ～ 22:00

「低線量甲子園:～ここまで線量を下げられました～」CT研究会世話人  
北陸CT研究会関連施設の各CT装置の低線量限界を競います。(注:ファントム試験です.)

2 日目

《メーカートピックス》 9:00 ～ 10:50

被ばく低減技術を中心に

東芝, 日立, GE, SIEMENS, Philips 予定

《学位取得記念講演》 11:00 ～ 11:50

「脳血流画像は臨床にどのように役立つか？」 福井大学病院 藤原 康博

問 合 先:富山大学附属病院 放射線部 伊藤 一

E-mail hajime@med.u-toyama.ac.jp TEL 076-434-2281

### 第 48 回 画像研究会のご案内

画像研究会 代表世話人 市川勝弘 國友博史

胸部単純 X 線画像は、その画像情報量の多さから、今なおその重要性は高く、最も多い放射線検査の一つです。今回、画像研究会では、臨床画像診断、画像工学、線量管理の観点から、デジタル X 線画像の特性を踏まえた胸部画像を再考したいと、下記の内容で開催いたします。詳細が確定次第、中部部会ホームページに掲載しますので、ご参照ください。なお、技術学会会員・非会員を問わず、参加可能ですので、多数の参加をお待ちしています。

テーマ; 「胸部単純 X 線画像を極める」

#### 内容

1. 放射線科医による胸部の X 線解剖学から読影のポイントの解説
2. 胸部単純 X 線画像の基本特性から画像処理による画像調整方法について
3. 胸部 X 線撮影の被ばく推定とそのリスクと被ばく線量測定法

日時 平成 24 年 9 月 22 日(土) 14 時 00 分～18 時 00 分(予定)

会場 名古屋市立大学病院 中央診療棟 3 階 大ホール

会費 無料

参加登録 不要

問合せ先 rakunny"AT"med.nagoya-cu.ac.jp

"AT"を@に変換してください。



## MR I 研究会

### 第 50 回 MR 研究会（北陸ブロック）

日時：平成 24 年 8 月 25 日（土） 14:00～

場所：石川県立中央病院 健康教育館

テーマ：「認知症の画像診断」

### 第 51 回 MR 研究会（北陸ブロック）

日時：平成 24 年 10 月（未定）

場所：福井大学病院臨床研修センター

テーマ：「(仮) 整形外科領域」

### 第 52 回 MR 研究会（東海ブロック）

日時：平成 25 年 1 月（未定）

場所：名古屋市立大学附属病院

テーマ：「未定」

### （開催検討中）

日時：平成 24 年 11 月（第 5 回 CCRT 開催時）

場所：アクトシティ浜松

テーマ：「未定」

## 乳房画像 研究会

### 第 39 回中部部会乳房画像研究会(第 27 回三重乳腺勉強会 共催)開催のお知らせ

日時 平成 24 年 9 月 16 日(日) 13:30～ (受付 13:00～)

会場 三重大学医学部 総合医学教育棟 2F 臨床第一講義室

〒514-8507 三重県津市江戸橋 2 丁目 174 番地

(近鉄江戸橋駅より徒歩 5 分)

会費 500 円

内容 1. 講演:「乳腺病理診断の所見の読み方」

講師:三重大学病院 病理部 小塚祐司 先生

2. 症例検討

**放射線治療  
研究会**

## 第 52 回岐阜県放射線治療技術研究会

日 時 平成 24 年 6 月 2 日(土)14 時～17 時まで

場 所 岐阜市民病院 4 階大ホール

プログラム

開会の挨拶 14:00

岐阜市民病院 渡邊 隆

司 会 岐阜県総合医療センター 栗田 貴司

【会員発表】 14:05～15:00

座 長 岐阜大学医学部付属病院 松山 勝哉

「大垣市民病院における前立腺がんに対する IMRT のホップ・ステップ・ジャンプ」

大垣市民病院 橋ノ口 信一 会員 藤原 宏 会員

「当院における Tomo Therapy による前立腺 IMRT の現状」

木沢記念病院 山元 直也 会員

【教育講演】 15:00～16:00

座 長 岐阜大学医学部付属病院 岡田 仁志

「前立腺癌に対する放射線治療:X線外部照射と小線源治療の適応について」

岐阜大学医学部 放射線科 大宝 和博 先生

【特別講演】 16:00～17:00

座 長 県立多治見病院 鎌田 茂義

「標準計測法11について」

ユーロメディテック株式会社 営業技術部 佐久間 慶 先生

※当日までに「標準計測法11」が発売されない場合は講演内容を変更させていただきます。

閉会の挨拶 17:00

中津川市民病院 成瀬 徹

## 第36回北陸放射線治療研究会開催のご案内

今回の研究会のテーマは、北陸地区で初めて稼働しました陽子線放射線治療について、福井県立病院陽子線がん治療センターの先生方をお願いしました。2011年3月より治療を開始、今年で1年稼働して、この一年で経験された先生方のご経験等を発表していただき、その後、施設見学を行いたいと思っております。ぜひ、多数のご参集をお願い申し上げます。

日 時:平成24年7月7日(土)午後2時～5時

場 所:福井県立病院陽子線がん治療センター

内 容:

- 1 挨拶 福井県立病院 陽子線がん治療センター長 山本 和高 先生
- 2 治療研究会 午後2時～3時頃  
座長 福井県立病院 柴田雅道 先生
  - (1)陽子線治療の紹介(陽子線治療の流れ等)  
福井県立病院 診療放射線技師 大戸 浩史 先生
  - (2)当センターの医学物理士の仕事  
福井県立病院 医学物理士 佐々木 誠 先生
  - (3)陽子線治療の臨床例  
福井県立病院 放射線治療専門医 高松 繁行 先生
- 3 陽子線治療施設見学会 午後3時30分～5時
  - (1)オリエンテーション(見学説明)
  - (2)見学会  
加速器室(入射器、シンクロトロン)、治療室、CTシミュレータ室等を担当者が説明しながら、見学していただきます。人数の多い場合はグループ分けを行います。終了時刻は多少前後します。なお、受付は13時30分～、陽子線がん治療センター3階セミナー室前で行います。日本放射線技術学会会員以外の参加者は、500円、会場費として徴収します。

## 第36回 IHE ワークショップ in 名古屋

医療情勢の変化により、多くの施設で医療情報システムの検討・導入がされてきています。その中において、一つのキーワードとして「IHE」という言葉をよく耳にします。

今回、日本IHE協会と協力して「IHE」に関するセミナーを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時：平成24年6月30日(土) 13:00～17:15(予定)

会 場：エーザイ株式会社名古屋コミュニケーションオフィス

名古屋市東区泉2丁目13-23 [地下鉄「高岳」1番出口右(北向き)徒歩3分]

参加費：5,000円

事前参加登録：登録サイト

<http://www.e-rad.jp/koop/modules/eguide/event.php?eid=65>

※ 参加する方は必ず事前登録をお願いいたします。

※ 医療情報技師認定ポイント 3ポイントの対象となります。

### プログラム

#### 開会の挨拶

IHE協会 理事 奥田 保男

#### I部 IHEの基礎 13:05

司会 坂本 博

1. なぜIHE活動がはじまったか (25分)

放射線医学総合研究所(普及推進委員) 奥田 保男

2. ユーザが、最低限知っておくべきIHEの知識 (25分)

放射線医学総合研究所(普及推進委員) 奥田 保男

3. テクニカルフレームワークの作成とコネクタソン (25分)

東北大学病院(普及推進委員) 坂本 博

#### II部 IHEの利用と期待 14:30

司会 奥田 保男

4. 放射線領域のIHE (20分)

静岡県立総合病院(普及推進委員) 法橋 一生

5. CD による医療情報連携のキーポイント (20 分)  
 東北大学病院(普及推進委員) 坂本 博
6. IHE で便利になる循環器情報管理 (20 分)  
 静岡県立総合病院(普及推進委員) 法橋 一生
7. 病棟, ICU, 救急, 手術室の医療機器を IHE でつなぐ PCD (20 分)  
 岡崎市民病院 中元 雅江  
 司会 法橋 一生
- III部 IHE の導入 16:00
8. IHE を用いて情報システムを導入した経験1 (30 分)  
 豊橋市民病院 原瀬 正敏
9. IHE を用いて情報システムを導入した経験 2 (30 分)  
 東北大学病院(普及推進委員) 坂本 博
- 閉会の挨拶 東北大学病院(普及推進委員) 坂本 博

## 第 8 回 PACS Specialist セミナー

主催 学術委員会、医療情報分科会、中部部会  
 共催 一般社団法人日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構

医療機関での PACS 導入が一層加速し、また東日本大震災の教訓から安全な情報管理や災害時の事業継続計画へのニーズが高まっています。情報システムの導入・管理・運用を円滑に行うためには、医用画像の特性、検査業務、標準規格・法令を十分に理解した技術者の育成が急務な状況です。そこで、医療情報分科会では、中部部会と合同で技術者の育成を目的としたセミナーを以下のように企画させていただきました。

- ・日 時:平成 24 年 8 月 25 日(土曜日)午前 9 時 30 分から午後 5 時
- ・会 場:エーザイ株式会社名古屋コミュニケーションオフィス 6 階ホール  
 名古屋市東区泉 2 丁目 13-23 [地下鉄「高岳」1 番出口右(北向き)徒歩 3 分]
- ・募集人数:30 名(申込み者多数の場合は、地域および施設を考慮して選考させていただきますことをご承知ください。)
- ・参加費:会員 5,000 円 非会員 10,000 円 当日、集合時に徴収します。
- ・参加資格:不問
- ・申込期間:平成 24 年 7 月 9 日から 7 月 28 日
- ・申込み, 問合わせ:  
 e-mail にて、①氏名 ②年齢 ③勤務先 ④勤務先住所 ⑤連絡先(e-mail.

TEL) ⑥日本放射線技術学会員番号 必要に応じて、⑦ 医療情報技師認定番号 ⑧ 医用画像情報専門技師認定番号 を明記のうえお申込みください。なお、“件名:”のところに「PACS Specialist セミナー参加申込」とご記入ください。

法橋 一生 (ほっきょう いっせい)  
静岡県立総合病院 情報企画室  
〒 420-8527 静岡県静岡市葵区北安東 4 丁目 27 番 1 号  
TEL 054-247-6111(内線 2052)  
e-mail: pacs.sp@gmail.com

・プログラム(都合により変更することがあります)

午前:講義

医療情報システムの安全管理に関するガイドライン解説

DICOM 中上級編

午後:グループディスカッション

・お 願 い:お申込みの際に受信確認メールを自動返信いたします。e-mail での申込み後返信がない場合は電話にてご確認ください。  
宿泊等が必要な方はご自身での確保をお願いします。

**超音波画像  
研究会**

### 第 51 回中部超音波検査フォーラム

日時 : 平成 24 年 6 月 24 日(日) 9:25~16:30(受付 9:00~)

場所 : KDX 名古屋ビル7F 名古屋市中区栄4丁目5-3

定員 : 30 名

概要 : 初心者向け 腹部エコー実技講習会 1 日コース 定員 30 名 受講料 3000 円

対象者 初心者 エコーに興味がある方

受講申込先 kct-otobe@octn.jp 乙部 宛

### 第 52 回中部超音波検査フォーラム

日時 : 平成 24 年 7 月 15 日(日) 9:25~16:30(受付 9:00~)

場所 : KDX 名古屋ビル7F 名古屋市中区栄4丁目5-3

定員：30名

概要：初心者向け 腹部エコー実技講習会 1日コース 定員 30名 受講料 3000円

対象者 初心者 エコーに興味がある方

受講申込先 kct-otobe@octn.jp 乙部 宛

### 第53回中部超音波検査フォーラム

日時：平成24年8月25日(土) 14:00～17:30(受付 13:30～)

場所：石川県金沢市

概要：講義講習会

### 第54回中部超音波検査フォーラム

日時：平成24年8月26日(日) 9:25～16:30(受付 9:00～)

場所：石川県

概要：実指導講習会(腹部領域、血管領域予定)

**放射線防護  
研究会**

### 放射線防護研究会の予定

昨年3月に発生した東日本大震災による福島原発事故の影響は、1年を過ぎた現在もなお節電、食品汚染、がれき処理などに姿を変え、中部ブロックの私たちにも及んでいます。引き続き放射線被ばくの基礎と放射線リスクコミュニケーションを両軸として未開催地域での研究会開催を計画しています。

7月14日(土)には、放射線防護分科会と中部部会との共催で放射線防護セミナーが名古屋市立大学にて開催されます。少人数グループディスカッションで本音をぶつけ合ひましょう。申し込みはJSRT本部ホームページの研修会・講習会からフォーム画面にたどり着けます。

第5回中部放射線医療技術学術大会では臨床現場で役に立つテーマで企画いたします。すべての予定は決定次第中部部会ホームページにアップしますので、今しばらくお待ち下さい。研究会の開催案内はメールマガジンで配信されます。これを機会にメールマガジンに登録されることを強くおすすめ致します。

## 事務局からのお知らせ

身近にインターネット環境が整備されていない会員の方に対してのビーム中部の郵送サービスは、継続申込みの手続きをお取りいただいた若干名の会員の方のみ継続されていましたが、今年度をもちまして郵送サービスを終了させていただきます。

### メールマガジンを是非ご活用ください



住所変更などの会員情報の変更は技術学会本部のホームページ (<http://www.jsrt.or.jp/>)の入会案内からお願いします。

#### 中部部会事務局の連絡先

〒920-8641 金沢市宝町 13-1 金沢大学附属病院 放射線部内  
 公益社団法人 日本放射線技術学会中部部会  
 TEL: 076-265-2010 FAX: 076-234-4311  
 E-mail [raddiv@med.kanazawa-u.ac.jp](mailto:raddiv@med.kanazawa-u.ac.jp)  
 URL : <http://jsrt-chubu.org/index.cgi>

公益社団法人 日本放射線技術学会中部部会 ビーム中部 2012年 第1号  
 発行人：鈴木 昇一  
 編集：大橋 一也